

## 2018 迎春

～旧年中はたいへんお世話になりました。新しい年もよろしく願いいたします。～

新年に入り、ガーナはハマターンが一層強くなってきました。ハマターンは、その年によっても違いはありますが、毎年12月から1月頃にかけて西サハラ砂漠から砂が季節風にのってやってきます。この時期の太陽は白くて、視界は白く霞んでいます。私がガーナに最初に来たのは2010年の1月です。この時のハマターンの事はあまり良く覚えていませんが、赤土が煙をあげて舞い上がりどこへ行っても埃っぽかった記憶があるので、ハマターンだと言われていたのでしょうか、この言葉はどこかで消えてしまったのかもしれませんが。2010年の1月は2週間の滞在。その年の9月の後半からガーナに移住してきているので、このハマターンは9回目の体験となります。ハマターンの季節は、日中太陽の陽射しが遮られるので過ごしやすくとてもいいのですが、病気を運んでくるともいわれるハマターンはまさに少々厄介なものでもあります。飛沫感染による病気が多いとも聞くので、咳くしゃみには十分気をつけないとなりません。日本もこの時期、風邪やインフルエンザが流行ってきますよね。気をつけないとならないところはガーナに居ても日本に居ても同じですね。

冒頭がハマターンの話になり、旧年中にお世話になったお礼がすっかり遅くなってしまいました。申し訳ありません。2017年はたいへんお世話になりました。改めて、ありがとうございます。皆さまの支えがあってガーナ在住8年目を迎えることが出来ました。本当によくここまでやってこられたなと感慨深くなります。皆さまのおかげによるものです。計画をたててもことごとく打ち砕かれ、なかなか進まない案件、考え方の違いなど何年住んでも慣れることなく悔しくて怒りで溢れてしまうことがあります。迎えた新しい年も屈することなく邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2018年1月3日  
スプートニクガーナ  
国分敏子